## 専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名 かねこしょう	うじ 上半陸によりはずでな
教育学部	教授	金子勝司	大学院における研究 指導担当資格の有無 無
I 教育活動		1	
教育実品	践上の主な業績	年月日 (期間)	概    要
1 教育内容・方法の工夫	(授業評価等を含む)		
実践指導力を身に付けさせる	教育方法	平成22年4月~現在	授業でのスポーツやレクリエーション、子どもの体育指導の講義 に加え、これらの対象を大学に招き運動指導や実践方法について の実習を行っている。また週一回、学生に近隣の保育園、体育施 設等で学習する機会を作り、実技や子どもを指導する機会を作っ ている。
大学と地域の連携活動の方法の	の実践例	平成24年7月~現在に至る	地域の教育委員会、学校、施設と連携し、子ども(障がい児も含む)を対象とした運動教室を実施。学生達に、企画・教室の運営・体育指導等の実際を学ばせている。
異世代交流事業(幼稚園・保育	育園)への参加	平成18年~現在	近隣の小学校・幼稚園等の行事等に関わり、子ども達と触れ合う機会を作っている。子ども達とコミュニケーションの取り方、行事(会の運営)のあり方を学ぶ機会をつくっている。
毎回の講義の概要および要点の	<b>のプリントを作成</b>	平成7年~現在	講義の効率化をはかり学習を助けるため、毎回の講義の概要と要点をプリントして、資料として配布している。また、質問等に対応するための時間の設定等も用意した。
2 作成した教科書、教材、	参考書		
8・9期 子ども運動教室 平成 10期 子ども運動教室 平成2 11期 子ども運動教室 平成2	8年度活動報告書 8年度活動報告書	平成28年3月 平成28年10月 平成29年3月	健康福祉学部のスポーツ福祉指導法 I (幼児) 、教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。
13期 子ども運動教室 平成2 14期 子ども運動教室 平成3	29年度活動報告書 29年度活動報告書 30年度活動報告書	平成29年10月 平成30年3月 平成30年10月	教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子ども の運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解し てもらうのに活用している。
16期 子ども運動教室 令和 17期 子ども運動教室 令和	10年度活動報告書 元年度活動報告書 元年度活動報告書 2年度活動報告書	平成31年3月 令和元年10月 令和2年3月 令和3年3月	教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子ども の運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解し てもらうのに活用している。 教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、子ども
19期 子ども運動教室 令和3 20期 子ども運動教室 令和3	年度活動報告書	令和3年10月 令和4年3月 令和4年10月	の運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。 教育学部の幼児と健康、健康領域指導法、アダプテッド・スポー
22期 子ども運動教室 令和4 23期 子ども運動教室 令和5	年度活動報告書	令和5年3月 令和5年10月 令和6年3月	製育子品の別なこ 健康、健康原域相等は、アクファイド・ハインツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。 教育学部の幼児と健康、健康領域指導法、アダプテッド・スポー
25期 子ども運動教室 令和6 26期 子ども運動教室 令和6	年度活動報告書 年度活動報告書	令和6年10月 令和7年3月	ツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子 どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。
27期 子ども運動教室 令和7	年度活動報告書	令和7年10月	教育学部の幼児と健康、健康領域指導法、アダプテッド・スポーツ実習の授業において、子どもの運動プログラムの作成方法や子どもの運動環境、能力を理解してもらうのに活用している。
平成28年度 学校インターン: 活動報告書	シップA・学校インターンシップB	令和1年8月	平成28年度に実施した、学校インターンシップA(小学校)・学校 インターンシップB(中学校)の実習の内容、学生の活動報告をま とめたものである。平成29年度の学校インターンシップA.Bの授業 において使用している。
平成29年度 学校インターン: 活動報告書	シップA・学校インターンシップB	平成30年3月~現在	平成29年度に実施した、学校インターンシップA(小学校)・学校 インターンシップB(中学校)の実習の内容、学生の活動報告をま とめたものである。平成29年度の学校インターンシップA.Bの授業 において使用している。
イラスト アダプテッド・スァ	ポーツ概論 東京教学社	平成29年4月~現在	教育学部のアダプテッド・スポーツ実習の授業において、主に子どもを対象としたの運動・レクリエーションプログラムや子ども や高齢者の運動・レクリエーション環境等の解説時に活用している。
3 教育方法・教育実践に	関する発表、講演等		
兵庫県赤穂市教育委員会主催 究・連携 - 講師(講演)	幼児体育研修会 - 大学との共同研	平成26年8月	講師(講演)
	幼児体育研修会 - 大学との共同研 輸対象の実技指導)	平成26年8月	講師(幼稚園教諭対象の実技指導)
和歌山県粉河保育園 教員に対		平成26年~現在	講師
和歌山県粉河保育園 保護者	参観において実技と講演	平成28年2月	講師
4 その他教育活動上特記で	すべき事項		
和歌山県粉河保育園		平成26年9月~現在	体育指導講師
こども運動教室(大阪体育大学	学)	平成24年6月~現在	実技指導・企画・運営責任者
岸和田市教育委員会 心技館	子ども体操教室	平成28年11月~現在	体育指導講師
	ープ 研究員(岩手県立大、桜美林 鈴者の転倒予防や暮らしの見守りに の開発研究	平成27年12月	研究員
岸和田市ニュースポーツフェン	スタ	平成30年3月~現在	実行委員
岸和田市スポーツ推進審議会	委員	令和1年~現在	審議会委員
		•	•

II       研究活動         著書(単著)       (単著)						
書名	著者	総頁数		発行所	発行地	発行年月
著書(共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁		発行所	発行地	発行年月
第5章 幼少期の子どもと地域スポーツ/ 地域に生きるこどもたち	共著	pp72~87	創世社		東京	平成26年3月
第13章 アダプテッド・スポーツとして のレクリエーション/アダブッテド・ス ポーツ概論	共著	pp170~178	東京教	学社	東京	平成29年4月
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載 題名	めている。学会抄録等は含め 著者	かない。) 誌名		巻	初(始)頁~終頁	発行年月
<u>№</u> 4 幼児・児童に対する投能力向上を目指し	山田一典・金子勝司	総合人間科学		第1号	pp115-120	平成25年3月
た短時間トレーニング指導の有効性 地域の体育教室・スポーツクラブが及ぼ す社会的意義について-自由記述からの	金子勝司・中野一茂	大阪千代田短期大学研究	紀要	第41号	pp113 120 pp43-54	平成25年12月
分析- 下肢に障がいを有する者と健常者の比較	山田一典・金子勝司他	総合人間科学		第1号	pp129-136	平成25年3月
から筋・腱形態の発育発達を探る 幼児の遠投距離測定からボールスピード			如何而			
を推定する	山田一典・金子勝司他	福岡子ども短期大学 研	九祁安	第25号	pp91-96	平成26年3月
「子ども運動教室」が子どもに及ぼす社 会的意義について	金子勝司・大月和彦	文教大学 教育学部2014		48巻	рр79-88	平成26年12月
保育園の延長保育時間におけるプレイ リーダーによる身体活動の活性化の試み	佐近慎平・金子勝司	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第41号	pp14-22	平成28年3月
運動教室実施後の子どもの行動変化について -年齢・性差・障がいの有無の違いからの考察-	金子勝司・大月和彦	生活科学研究所紀要		第39集	pp205-214	平成29年3月
新潟県阿賀野市保育園児の運動能力と生 活習慣の社会学的検討	佐近慎平・金子勝司	総合人間科学研究		第5号	pp9-18	平成29年3月
障がい児を対象としたスポーツクラブの 提案-わくわくアダプテッド・スポーツ クラブの事例-	曽根裕二・金子勝司他	大阪体育大学 教育学研	究	第1巻	pp35-42	平成29年3月
保育園の遊環構造の有無による運動能力 是正の試み	佐近慎平・金子勝司	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第42号	pp3-11	平成29年3月
保育園児の運動能力と生活習慣の社会学 的検討	佐近慎平・金子勝司他	総合人間科学		vol. 5	pp9-18	平成29年3月
地域在住高齢者における歩行時の身体動 揺に関連する要因について	竹内亮・金子勝司他	大阪体育大学 教育学研	究	第2巻	pp37-45	平成30年3月
性差・年齢・障がいの有無の違いにみる 運動教室への入会動機についての考察	金子勝司・佐近慎平他	総合人間科学研究		第6号	pp95-106	平成31年3月
保育士の身体的有能さの認知と運動遊び 指導時の不安要素の検討	中曽根裕・金子勝司	総合人間科学研究		第7号	pp31-44	平成31年3月
新潟県村上市の保育園児の運動能力と生 活習慣の社会学的検討	佐近慎平・金子勝司	総合人間科学研究		第6号	pp3-12	平成31年3月
中学生の学内外のスポーツ・運動に関する実施状況と課題 -非実施者のスポーツ・運動支援について考える -	金子勝司・大月和彦	生活科学研究所紀要		第41集	pp59-69	平成31年3月
幼児の体力向上のための保育者・スポーツ指導者へのレクリエーション教育の効果	佐近慎平・金子勝司	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第43号	pp22-27	平成31年3月
スポーツコーチの保育園児への教授力形成のための活動分析を用いた学習プログラムの開発	佐近慎平・金子勝司	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第44号	рр3-10.	令和1年3月
小学生の学内外のスポーツ・運動に関する実施状況と課題 - 非実施者のスポーツ・運動支援について考える -	金子勝司・大月和彦	生活科学研究所紀要		第43集	p71-82	令和3年3月
コロナ禍におけるどもの学習・運動に関する保護者の意識調査 - 幼少期の子どもを抱える保護者に対してのインタビュ調査を通して -	金子勝司・佐近慎平他	別冊総合人間科学vol.3		vol. 3	p3-14	令和3年3月
初等教育における主体的・能動的な学び によるパラリンピック教育の開発 -	佐近慎平・金子勝司他	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第46号	pp31 - 41	令和3年3月
ネットワーク構築につながる健康体操教 室の継続要因について	本田理紗・金子勝司他	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第46号	pp42 - 52	令和3年3月
保育者の運動あそび時の関りについての 検討	中曽根裕・金子勝司他	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第46号	pp70 - 78	令和3年3月
幼児の四つ這い走を発達させる運動遊び 環境の構成要素の研究	佐近慎平・金子勝司他	Leisure&Recreation自由 究	時間研	第47号	pp10 - 19	令和4年3月

積雪期における健康教室の継続要因の検証 - 場でつながる楽しさとつながりに着目して -	本田理紗・金子勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第47号	pp119 - 129	令和4年3月
障害児を対象とした運動教室の成果と課題—covid-19禍におけるオンラインを活用とした実践に関する事例的検討—	曽根裕二・金子勝司・植木昭三	大阪体育大学教育学研究	第6巻	pp17-26	令和4年2月
幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成.自由時間研究.48:13-18.	佐近慎平, 金子勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第48号	pp13 - 18	令和5年3月
「幼児期の運動遊び経験が就学後の運動やスポーツに親しむ資質に与える影響〜保育者志望学生の身体的有能さの認知に着目して〜」(2023)	中曽根裕・金子勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第48号	pp54 - 63	令和5年3月
健康体操教室の参加と行うニュースポー ツのアレンジの研究	本田理紗・金子勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第48号	pp35 - 45	令和5年3月
健康体操教室に参加する男性高齢者と行うレクリエーション活動の研究	本多 理紗, 金子 勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第49号	pp30-36	令和6年3月
保育者の幼児の四肢運動と保育に関する みとりの熟達による差	佐近慎平,金子勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第49号	pp3-10	令和6年3月
幼児のおける短期的な投動作運動プログラムの比較 - 保育者ができる運動プログラムの開発を目指して -	大橋祐介・金子勝司他	東筑紫短期大学 研究紀要	第55号	pp31-44	令和6年12月
インクルーシブな幼児体育の創造に向けて -幼児体育という用語の観点から-	大橋祐介・金子勝司他	大阪体育大学教育学部紀要	9巻	pp53-65	令和7年3月
健康体操教室の参加者と大学生が共に考え 実践するレクリエーション活動の研究 〜健康体操教室参加者および大学生に与える効果・影響の検証〜	本多 理紗, 金子 勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第50号	pp34-37	令和7年3月
高等教育機関における初任者研修の あり 方に関する研究 〜レクリエーション教育に携わる初任者 教員の分析から〜	佐近 慎平, 金子 勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第50巻	pp38-41	令和7年3月
健康教室参加者の認知機能と体力向上および レクリエーションダンスプログラムの楽しさの検証	高山 昌子,金子 勝司他	Leisure&Recreation自由時間研究	第50巻	pp42-45	令和7年3月
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
1					· ·

その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)

区分	題名		著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
研究/- ト	障がいの有無、性差からみた運動教室の社会的意義について -子ども運動教室に参加する保護 者の調査からの考察-	共	金子勝司 (筆頭) ・大月 和彦	生活科学研究所紀要	38巻	pp225~230	平成28年3月
研究 <i>)-</i> ト	保護者が子どもの運動教室の入 会に関する決定要因について -性差・年齢・障がいの有無から の考察-	共	金子勝司(筆頭) · 大月 和彦	生活科学研究所紀要	第40集	pp1~6	平成30年3月
実践報 告	践報告)	共	金子勝司(筆頭)他	大阪体育大学 教育学研究	第2巻	pp1~15	平成30年3月
実践報 告	2012年度 人阪体育人子健康値 祉学部スポーツ福祉系 活動報 告 - 日例動命全の盟催 -	共	曽根裕二・金子勝司他	大阪体育大学健康福祉学部研究 紀要	第10巻	pp79~84	平成25年3月
実践報 告	教育実習の活動実践報告	単	金子勝司	大阪体育大学健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 研究紀要	VOL. 1	pp63-75.	平成26年3月
実践報 告	5期子ども運動教室活動報告	単	金子勝司	大阪体育大学健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 研究紀要	VOL. 1	pp43~55	平成26年3月
実践報告	平成27年度 子ども運動教室 活動報告書「8期子ども運動教 室」「9期子ども運動教室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 活動報告書	第1巻	pp1~151	平成28年3月
実践報告	平成29年度 学校インターン シップA・学校インターンシップ B 活動報告書	共	陳洋明・金子勝司他	大阪体育大学 教育学部	第2巻	pp1~105	平成30年3月
実践報 告	平成28年度 学校インターン シップA・学校インターンシップ B 活動報告書	共	陳洋明・金子勝司他	大阪体育大学 教育学部	第1巻	pp1~107	平成29年3月

実践報 告	10期子ども運動教室の実践報告	単	金子勝司	健康福祉実践研究センター研究 紀要	第3号	pp21~34	平成29年3月
実践報 告	9期子ども運動教室の実践報告	単	金子勝司	大阪体育大学 教育学紀要 第1 巻	第1巻	pp95~106	平成29年3月
実践報告	平成28年度 子ども運動教室 活動報告書「10期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 活動報告書	第10号	pp1~140	平成29年3月
実践報告	平成28年度 子ども運動教室 活動報告書「11期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 健康福祉実践研究センター 活動報告書	第11号	pp1~112	平成29年3月
実践報告	平成29年度 子ども運動教室 活動報告書「12期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第12号	pp1~112	平成30年3月
実践報告	平成29年度 子ども運動教室 活動報告書「13期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 健康福祉学部 社会貢献センター 活動報告書	第13号	pp1~104	平成30年3月
実践報告	平成30年度 子ども運動教室 活動報告書「14期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 教育学部 社会貢献センター 活動報告書	第14号	pp1~130	平成30年10月
実践報告	平成30年度 子ども運動教室 活動報告書「15期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 教育学部 社会貢献センター 活動報告書	第15号	pp1~144	平成31年3月
実践報告	令和元年度 子ども運動教室 活動報告書「16期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 教育学部 社会貢献センター 活動報告書	第16号	pp1~148	令和1年9月
実践報告	令和元年度 子ども運動教室 活動報告書「17期子ども運動教 室」	共	金子勝司他	大阪体育大学 教育学部 社会貢献センター 活動報告書	第17号	pp1~140	令和2年3月
実践報告	令和2年度 子ども運動教室「18 期 子ども運動教室 活動報告 書」	共	金子勝司他	大阪体育大学 教育学部 社会貢献センター 活動報告書	第18号	pp1~122	令和3年3月
実践報告	令和2年度 子ども運動教室「19 期 子ども運動教室 活動報告 書」	共	金子勝司他	大阪体育大学 教育学部 社会貢献センター 活動報告書	第19号	pp1~123	令和3年10月
実践報告	オンライン座談会コロナ禍における大学教育の取り組みについて・実技授業の実施に着目して・	共	金子勝司他	別冊総合人間科学	vol.3	pp109-122	令和3年3月
実践報 告	幼児期における心と体の発達を 促す運動教室の事例報告	共	吉田大祐、金子,勝司他	大阪体育大学教育学研究紀要	第9号	pp25-36	令和7年3月
研究 <i>ノ</i> ー ト	インクルーシブな幼児体育の創 造に向けて - 幼児体育という用 語の観点から -	共	大橋祐介・金子勝司他	大阪体育大学教育学研究紀要	第9号	pp53-65	令和7年3月
1							

学会発表(「国際学会」、「国内学会(一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等」、「研究会」等区分を記入)

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
研究会	平成29年6月	日本レクリエーション協会平成29年度全 国研究集会 実践・研究発表会	保育園の遊環構造の有無による運動能力 差是正の試み	京都学園大学	佐近慎平
国内(一般演題)	平成29年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会大 会	体育系大学が主催する障がい児を対象と したスポーツクラブの試み〜主に重度知 的障がい児を対象として〜	早稲田大学	
国内(一般演題)	平成28年10月	第76回日本公衆衛生学会大阪	スマートフォンを活用した転倒予防の取り組み - 転倒予防体操の効果と普及の可能性 -	グランフロント大阪	
国内(一般演題)	平成28年10月	第76回日本公衆衛生学会大阪	自立および虚弱高齢者における足趾把持 力の年代別比較	グランフロント大阪	
研究会	平成28年6月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 平成28年度 全国研究集会 実践・研究発表	保育園の延長保育時間における プレイ リーダーによる 身体活動の活性化の試み	徳島文理大学	佐近慎平
研究会	令和3年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和3年度 全国研究集会 実践・研究発表	ネットワーク構築につながる健康体操教 室の継続要因について	オンライン発表	
研究会	令和3年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和3年度 全国研究集会 実践・研究発表	ネットワーク構築につながる健康体操教 室の継続要因について	オンライン発表	
研究会	令和4年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和4年度 全国研究集会 実践・研究発表	幼児の四つ這い走を発達させる運動遊び 環境の構成要素の研究	姫路市	
国内(一般演題)	令和5年	日本体育・スポーツ・健康学会 第73会大会	幼稚園・認定こども園で展開される・イン クルーシブな幼児体育指導の現状と課題 専門指導者の意識とスキルに着目して	同志社大学 今出川キャ ンパス	

研究会	令和5年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和5年度 全国研究集会 実践・研究発表	幼児の四肢運動環境構成による協調運動 能力の形成	徳島文理大学	
研究会	令和5年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和5年度 全国研究集会 実践・研究発表	健康体操教室の参加者と行うニュースポーツのアレンジの研究 〜活動を通したコミュニティの醸成〜	徳島文理大学	
研究会	令和5年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和5年度 全国研究集会 実践・研究発表	幼児期の運動遊び経験が就学後の運動や スポーツに親しむ資質に与える影響 〜保育者志望学生の身体的有能さの認知 に着目して〜	徳島文理大学	
国内(一般演題)	令和6年3月	京都滋賀体育学会 第153回大会	幼稚園・認定子ども園における 幼児体育指導者の実態 インクルーシブ 体育の観点から	立命館大学 びわこ・く さつキャンパス	
研究会	令和6年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和6年度 全国研究集会 実践・研究発表	健康体操教室に参加する男性高齢者と行 うレクリエーション活動の研究	ライトキューブ宇都宮	
研究会	令和6年9月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和6年度 全国研究集会 実践・研究発表	保育者の幼児の四肢運動と保育者に関す るみとりの熟達による差	ライトキューブ宇都宮	
研究会	令和7年11月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和7年度 全国研究集会 実践・研究発表	健康体移送の参加者と大学生が共に考え 実践するレクリエーション活動の研究 - 健康体操教室参加者および大学生に与 える効果・影響の検証 -	ウインクあいち	
研究会	令和7年11月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和7年度 全国研究集会 実践・研究発表	高等教育機関における初任者研修のあり 方に関する研究 - レクリエーション教 育に携わる初任者研修の分析から -	ウインクあいち	
研究会	令和7年11月	日本レクリエーション協会 公認指導者 養成課程認定校研究連絡会議 令和7年度 全国研究集会 実践・研究発表	健康教室参加者の認知能力と体力向上およびレクリエーションダンスプログラム の楽しさの検証	ウインクあいち	

## 科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
その他の助成金	日本レクリエーション協会 平 成29年度 研究助成事業	幼児の体力向上のための保育者・スポーツ指導者 へのレクリエーション教育の効果	分担	平成29年4月~30年3月	162, 000
その他の助成金	平成30年(公財)日本レクリ エーション協会課程認定校研究 連絡会議研究助成事業	「遊びを介した保育の力量形成のための保育者へ のレクリエーション教育プログラムの開発」	分担	平成30年4月~令和1年3 月	100, 000
その他の助成金	平成27年度(公財)日本レクリ エーション協会課程認定校研究 連絡会議研究助成事業	「保育園の延長保育時間におけるプレイリーダー による身体活動の活性化の試み」	分担	平成27年4月~平成28年3 月	100, 000
その他の助成金	平成28年度(公財)日本レクリ エーション協会課程認定校研究 連絡会議研究助成事業	「遊環構造を取り入れた保育園幼児の運動能力差 是正の試み」	分担	平成28年4月~平成29年3 月	100,000
その他の助成金	令和1年(公財) 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡 会議研究助成事業	「レクリエーション指導/支援技術教育を用いた 保育士志望学生の保育力量形成の検証」	分担	令和1年4月~令和2年3月	100, 000
その他の助成金	令和3年(公財) 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡 会議研究助成事業	幼児の四つ這い位の運動遊び指導による保育者の 運動指導方法の開発 -四つ這い位走を発達させ るレクリエーションゲームの活用—	分担	令和3年4月~令和4年3月	100, 000
その他の助成金	令和3年(公財) 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡 会議研究助成事業	積雪期おける健康体操教室の継続要因の検証~場で感じる楽しさとつながりに着目をして~	分担	令和3年4月~令和4年3月	100, 000
その他の助成金	住友生命健康財団2020年度スミセイ コミュニティスポーツ推 進助成プログラム	障がい児の豊かなスポーツライフを実現するため のスポーツ環境の提供事業	分担	令和3年4月~令和4年3月	500, 000
	令和5年(公財)日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議研究 助成事業	幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成	分担	令和4年4月~令和5年3月	70,000
その他の助成金	令和5年(公財) 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡 会議研究助成事業	健康体操教室の参加者と行うニュースポーツのアレンジの研究 ~活動を通したコミュニティの醸成~	分担	令和4年4月~令和5年3月	70,000
その他の助成金	令和5年(公財) 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡 会議研究助成事業	幼児期の運動遊び経験が就学後の運動やスポーツ に親しむ資質に与える影響 〜保育者志望学生 の身体的有能さの認知に着目して〜	分担	令和4年4月~令和5年3月	70,000
科学研究費	基盤研究◎	保育者の幼児の転倒時に手がでる動作環境設定の 一般化の検証	分担	令和7年4月~令和9年3月	110, 000

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合	公告·特許番号	围
				$\Rightarrow$		

Ⅲ 加入学会および社会における活動				
期間			容	
加入学会	T			
平成25年8月~	_	ド体育・スポーツ学会(現在に至る	5)	
平成12年4月~	日本生涯スポーツ			
平成29年4月~現在	日本発育発達学:	슾		
令和4年4月~	日本保育学会			
II A MATERIAL				
社会的活動	10七化去兴久 .	上人中纪子里 (上阳开去上兴)		
平成28年8月		大会実行委員(大阪体育大学)	→11.→+- 1.××\	
平成26年3月		スポーツ学会 大会実行委員(大阪		
平成26年4月		ド体育・スポーツ学会 大会実行委		
平成29年4月~現在		ツ推進計画策定委員会 委員(顧問		
平成22年4月~現在		大阪府レクリエーション協会 課程	是認定校 幹事	
平成27年4月~令和5年3月	文教大学 生活程	科学研究所 客員研究員		
令和1年8月~現在	岸和田市スポー	ツ推進審議会委員		
令和1年12月	日本アダプテッ	ド体育・スポーツ学会 大会実行委	員(大阪体育大学)	
IV 管理活動				
期間		内	容	
委員会活動				
平成27年4月~平成29年3月	教育学部 教務			
平成29年4月~現在	教育学部 カリ			
平成24年4月~平成27年3月	健康福祉学部			
令和1年4月~令和3年3月	教育学部 キャ			
令和1年4月~令和5年3月		ー 副センター長		
令和5年4月~	大学評議会			
令和5年4月~	執行役会	<del>주</del> 무 스		
令和5年4月~	自己点検・評価を	安貝云		
令和5年4月~ 令和5年4月~	危機管理委員会 全学予算員会			
令和5年4月~	全学FD委員会			
令和5年4月~	研究公正委員会			
令和5年4月~	研究推進委員会			
令和5年4月~	全学入試委員会			
令和5年4月~	施設検討委員会			
令和5年4月~		防止等専門委員会		
令和5年4月~	人権教育委員会			
令和5年4月~	個人情報保護委	員会		
令和5年4月~	障がい学生支援	委員会		
令和5年4月~	内部質保証推進	委員会		
令和1年4月~令和4年3月	国際・地域交流	委員会		
特別プロジェクト活動				
V クラブ活動の指導業績				
1. 指導クラブ名 幼小体育研		部 2. 役職	顧問 平成24年~現在	3. 部員数 33 人
4. 現場指導の頻度 ③ ① ほほ	ま毎日 ② 週 3		ましていないが、計画や内容の指導	尊 ⑤ 全く関与していない
5. 合宿指導 年間合宿回数:	Van Lee Orderland	回延べ日数:	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	+ : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	りに取組んでいる ②ある程度取組		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	りに取組んでいる ②ある程度取組		
8. 部員の就職指導への取り組み 9. 年間の引率公式大会名	<u> </u>	りに取組んでいる ②ある程度取組 会 名		
9. 年间仍有举公式人芸名	人 :	云 名	期間	場所
   10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関	西選毛権 4 位以 1-	、関西1部リーグ3位以上の団体	<ul><li>個人の戦績を記入して下さい。)</li></ul>	
開催期間		会 名	成績	場所
- No. 104 /93 July			//N //ISK	171
VI 賞罰(職務に関する賞罰)				
年 月 受賞等機	関名	内	容	備考